



ゆうこう と し がく よう た よ り 友好城市岳陽信息

平成27年4月を初回に、沼津・岳陽友好都市提携30周年を記念して始まったこのコーナーは、沼津市の友好都市である中国湖南省岳陽市の様子を中心に、中国や岳陽についての新旧織り交ぜた情報を紹介するコーナーです。

皆さんこんにちは。1996年秋から1年間、岳陽市で語学留学をしておりました吉川順子（旧姓上野）です。

今回は、懐かしい岳陽留学時代を振り返ってみようと思います。



20年も前のこととなります、当時の私は、国際関係に興味を持ち、海外に行きたいという思いを募らせていました。そんな中、広報ぬまづの留学生募集の記事が目にとまりました。中国・岳陽市とアメリカ・カラマズー市の2つの募集があり、当時の中国は物価が安く、「学費も生活費もアルバイトで貯められる」との理由で中国・岳陽市を選びました。私にとっては初めての海外、そして、初めての一人暮らし！この初めて尽くしに期待は高まるばかりでした。

1996年秋、同じ沼津市からの留学生であるアキさん、サトシさんと共に、上海を経由して到着したのは湖南省都の長沙空港。時刻は既に夜、空港まで車でお迎えに来てくれた学校の先生と共に、途中の食堂でお夕飯を食べることになりました。

楽しみの1つであった本場の中華料理！しかし、食堂は裸電球だけで薄暗く、縁の欠けたお茶碗に黒ずんだお箸が出され、一気に不安が押し寄せました。そんな私の気持ちを察したのでしょう、中国生活経験のあるアキさんが「熱湯で消毒するんですよ」と慣れた手つきでポットのお湯をお茶碗とお箸にかけ始めたのです。驚きと共に更なる不安を覚えた初日・・・、今でもあの日の光景は脳裏に焼き付いています。

さて、私の語学力はといえば、留学前に第二外国語で中国語を選択してはいたものの、言えた言葉は「你好（こんにちは）」と「謝謝（ありがとう）」だけ。それでも当時19才、留学先の学生達と同年代で、すぐにお友達ができました。学べば学ぶほど彼らとの会話も弾み、楽しくて楽しくてメモ帳とポケット辞書は常に携帯。質問ばかりする鬱陶しい留学生だったと思います。根気よく付き合ってくれた彼らがいなかったら、私の中国語の上達はなかったでしょう。



【96年9月 日本人留学生歓迎会にて】

ところで、湖南省岳陽市は中国において地方都市となります。外国人も少なく、日本人は沼津市との友好都市構築にご尽力くださった現地在住の福地愛子さんを含め、当時は全部で7人。半年後には学生は私1人になってしまいました。

そんな状況に多くの方が「寂しいでしょう」と御自宅に招待してくれたり、私の住んでいた宿舎に遊びに来てくれたりしました。

ある日のこと、お友達を訪ねた際、そのお家のお母さんが「よく来たね～。さあ、入って入って！」と歓迎してくれたのですが、食卓を見てビックリ！バンザイをした小さなカエルの唐揚げが、山のように積まれていたのです。そのグロテスクな姿にたじろいでいると、遠慮していると思われたようで、「たくさん食べてね。」と私のご飯茶碗に取り分けてくれました。

残すのも悪いと恐る恐る口にしたところ、「很好吃（美味しい）！」後日、他の方からカエルは調理に手間がかかると伺いました。ご馳走を用意して待っていてくれたんですね。

初日こそ不安を覚えた岳陽での生活は、1年も経過すると私の第二の故郷となりました。岳陽を離れる前、お世話になった方々へお別れのご挨拶へ何う度に涙し、このまま岳陽に住みたいと思ったほどでした。



【97年7月 お見送りの方々と】

あれから20年、今年2017年のゴールデンウィークにようやく再訪することが出来ました。あまりの変貌ぶりに驚きましたが、船の行き交う洞庭湖は今なお雄大であり、変わらぬ景観に岳陽に帰ってきたことを実感しました。そして何より、お世話になった先生が当時と同じように歓迎してくれ、留学時代もいつも優しく包み込んでくれたことを思い出し、胸がいっぱいになりました。



【17年5月 新しい校門前で】



【17年5月 学校横の南湖畔にて】



【17年5月 洞庭湖を望む】

19歳から20歳という多感な時期に日本を飛び出し、水を得た魚のように生き活きと過ごすことが出来たのは、温かく受け容れてくれた彼の地の皆さまのおかげです。

私は現在東京に住んでおり、今年2月東京で開催された「日本湖南新春交歓会（主催：日本湖南同郷会および日本湖南総商会）」にお誘いいただきました。日本においても湖南省の方々と交流を持てる、これほど嬉しいことはありません。

今後は、地元沼津市、そして第二の故郷である湖南省岳陽市、お茶・ミカンという共通項をもつ両市に恩返しをしたいと思います。



【17年2月 日本湖南新春交歓会】

平成27（2015）年に友好都市提携30周年を迎えた沼津市と中国湖南省岳陽市。長いお付き合いも、新しいお付き合いも、これからも大切にしていきたい関係ですね。みなさんの岳陽思い出話も募集中！次回掲載もお楽しみに！